

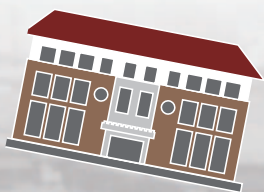
◎特集1

あるき太郎 vol.2 「^{いと}糸まち回廊」

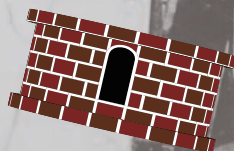
近代化産業遺産めぐり



桜の季節の「花回廊」に続くあるき太郎第2弾は、近代化産業遺産をめぐる「^{いと}糸まち回廊」。今回は、東回廊、西回廊の2つのコース設定で、まちづくりウォーキングを開催します。体力やコンディションに合わせてコースを選択、あるいは両方のコースをがんばって歩いてみるのもおすすめです。近代化産業遺産の通過ポイントでは、ウォーキングマップを完成させる「糸まちシール」を配布。スタンプラリー形式で、シール集めも楽しめます。薫り高い歴史と文化に彩られた、おかやを元気に歩いて、ふるさとの秋を満喫しましょう。



平成19年度 経済産業省
近代化産業遺産



あなたも「あるき太郎」
みんなで「あるき太郎」

糸^{いと}まち回廊 **参加無料**

当日は有料施設を無料開放
(旧林家住宅・蚕糸博物館)

11月8日(日) 小雨決行

集合場所：市立岡谷蚕糸博物館
受付：午前8時30分
出発式：午前9時、自由解散

地域活性化事業「あるき太郎」

近代化産業遺産 ひとくちメモ

「あるこう あるこう。」

そのほうが からだのためにも いい」

あるき太郎は いいよ

あるくことに なりました。

昭和2年に出版された武井武雄の画噺「あるき太郎」の一節です。あるき太郎は、旅の途中で早歩きの人たちと次々に出会い、ともに歩けるように、さらにはもつと早く歩けるように！と励むうち、とうとう誰よりも早く歩けるようになりました。

地域活性化事業「あるき太郎」は、歩くことの楽しさを知り、強く健康になった「あるき太郎」をお手本に、歩くことで丈夫なからだをつくり、ふるさとの自然や歴史にふれ、環境や街並みについて考え、地域資源を発掘しようと思ってきました。…さあ、みなさん用意はいいですか。「あるき太郎」と一緒に今回は「近代化産業遺産ウォーキング」の旅へ出発です。

ウォーキングスタイルで

参加しましょう！

◆運動しやすい服装(体温調節ができるように)

◆スニーカーやウォーキングシューズなど

◆リュックサック

もちもの

●汗ふきタオル ●飲み物 ●帽子 ●雨具



旧山一林組製糸事務所

正面門柱の上部に屋号の山一の文字が刻印されている。事務所玄関ポーチの柱は、洗い出し技法による表面の質感が門柱とは違うため、昭和の後付けか!?…いずれも左官技術は秀逸。

山一争議(昭和2年)の舞台としても有名。会社側は寄宿舎を閉鎖し、労働者の権利確立を訴える職工1000人を工場から出すと、労組幹部を逮捕させた。守衛所通用門は攻防の最前線か。

成田公園

成田公園の上にある太鼓道場駐車場の奥には、製糸業の基を築いた林国蔵、尾澤金左衛門の銅像が建てられていたが、

戦時中の金属供出により現在は台座だけが残る。正面右側が尾澤金左衛門、左側が林国蔵の台座。写真は建立当時の尾澤金左衛門銅像。

旧林家住宅

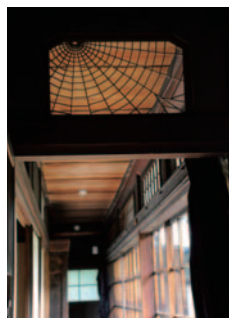
床と脇床の境、明かり取りのためともいわれる吹き抜けをこう呼ぶ。江戸時代に中国から渡来し流行した愛玩犬「ちん」が、走り回り、くぐり抜けられる穴をイメージした名称。同家上座敷床の間の狭くぐりは、杉の1



枚板からの掘り出しで、鷹と柏の彫刻が施されている。鷹は大空を羽ばたく飛翔の象徴、柏は春に新芽が出るまで枯れ葉が落ちないことから家が長く継承されるといわれる縁起もの。

鏡板組子欄間と廊下丸げた

新築の自宅に、くもの巣を張らせてしまふ遊び心?に感服。もしかするとカイコの糸なのかも?鏡板は、公私の空間を分ける暗黙のサイン。



座敷廊下、重い屋根を支えている丸げたの長さは8間(約14m)。このヒノキの一本丸太を木曾から運ぶのに、道が曲がれず、角の家を一旦壊して柱を通してから、その家を再建したのだとか。

座り流しのある台所の電灯
なんと滑車のついた
上げ下げ式電灯が!上げれば部屋全体を照らし、下げれば手元の作業に便利。これもひとつの近代化遺産!?



ふすまの引き手

ワンポイントデザインの真骨頂。「実用美」の典型でありながら、楽しくなるような多彩な意匠が随所に。



問合せ ● 健康推進課(内線1181)

「あるき太郎」は旅を続けます…市民が主役のまちづくりのために。健康志向でまちづくりを推進するイメージキャラクターであると同時に、岡谷のいいところを探し歩くみなさん自身の投影として。

引き続き来年も「あるき太郎」まちづくりウォーキングにご期待ください。市民スタッフによるワークショップも計画中です。一緒にイベントを企画しませんか。

「あるき太郎」の旅は、始まったばかり。これからも、たくさんの発見や学びに胸を高鳴らせ、みんなで「あるこう あるこう」歩きましょう。

「あるき太郎」はさらに進化します!!



旧岡谷市役所庁舎内部。写真は市制施行記念のポストカードより



市立岡谷蚕糸博物館 所蔵資料



旧岡谷市役所庁舎

旧蚕糸試験場

商工会館

旧岡谷市役所 庁舎(消防署)

スタート

市立岡谷 蚕糸博物館

岡谷市役所

岡谷病院

ホノルラ

岡谷市役所東

蚕糸公園

岡谷病院前

本町

西回廊 コース

ラビリンスの街ゾーン
複雑な路地が不思議な迷宮へと誘い込む…自由に散策を楽しんで

蚕霊供養塔

成田公園

金上繭倉庫

旧山一林組製糸事務所

近代化産業遺産群などを紹介する案内スペースが近々オープン

ララおかや

丸山タンク

丸山橋

長野自動車道

旧林家住宅

おかや

田中町1・2丁目

旧山一林組製糸事務所

このあたりを中心に、かつて天竜川畔には製糸工場が林立し、水をくみ上げ動力を供給する水車もたくさん並んでいた

成田公園



蚕霊供養塔



株式会社金上繭倉庫



旧林家住宅

舟付場跡



丸山タンク

地元の古老の記憶では「子どものころ、現在の倍ほどの高さがあった」とのこと





※カラー写真は近代化産業遺産。
モノクロ写真はかつて岡谷にあったシルク関連施設



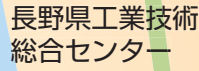
旧山上宮坂製糸所。かつては1万㎡の敷地に繭倉6棟、寄宿舍など30の施設が



丸中宮坂製糸所繭倉庫
繭倉庫として今も現役。昔ながらの諏訪式繰糸機も活躍中



旧山上宮坂製糸所事務所



長野県工業技術総合センター



東西東西。市民のみなさま。
さあさ、歩いてみようじゃありませんか。
「絲まち回廊」でああなたの元気を、
まちの元気を、いざ発掘！



C 市制施行に沸く駅前広場。昭和11年



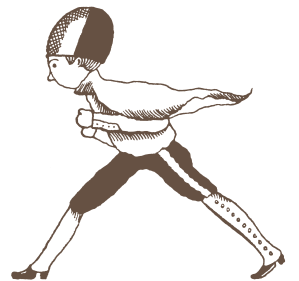
E 吉田館の繭倉庫は高層の5階建て。製糸の発展を物語る風景や匂いは、人々の記憶のなかに残る



A 小口薬師堂から北に伸びる小井川通りは工女でにぎわう繁華街だった。写真はだるま祭り



B かつての郵便局。旧市立図書館といえば、40歳以上の市民に懐かしい



H 中央通りのまんなか。プラタナス(鈴掛の木)の木陰も今は歩道橋の日陰に



F 諏訪倉庫資料より往時の塚間倉庫群



C 安田銀行(左)、D 八十二銀行(右)、どちらも立派な構え

